大使館からのお知らせ

【安全情報6月分】当地報道より、殺人、強盗事件や自然災害など、先月6月に報じられた皆様の安全に係わる情報の概要をお知らせしています。

先月同様、リンコンデラビエハ火山・ポアス火山・トゥリアルバ火山の噴火活動の活発化が予想されるため、引き続き警戒が必要です。今後も最新の情報入手に努めてください。

コスタリカ司法警察（OIJ）の調べで、2017年上半期に国内で発生した殺人件数が、前年同期比+8件の278件となりました。過去の傾向から10月・11月が最も殺人件数が増加する月となっており、この傾向が継続すれば今年には600件を超えるものと予想されており、過去最高を記録した前年の578件を上回るとみられています。

また、中南米における10万人あたりの殺人件数について、報道では上位からエルサルバドル：81.2人、ホンジュラス：59人、ベネズエラ：59人、ジャマイカ50人、グアテマラ：27.3人、ブラジル：25.7人、コロンビア：24.4人、プエルトリコ：20人、メキシコ：16.2人、ドミニカ共和国：15.8人、コスタリカ：11.8人となっており、コスタリカも中南米全域の中で殺人件数が多い国に含まれ、危険な地域と位置づけられています。

●サンホセ県

「25歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

6月1日未明、ティバス市レオントレセで25歳男性が銃撃され、銃弾を10発受けて死亡した。報復によるものとみられている。

「25歳男性、銃撃され殺害」(殺人事件)

6月10日午前4：00、サンホセ市パバスで25歳男性が道端で友人4人と会話をしていたところ、通りかかった車が全員に向け発砲した。25歳男性が銃弾を受けて死亡、他4人は怪我を負った。

「59歳男性、手足を縛られ殺害」(殺人事件)

6月10日12：00頃、モンテスデオカ市で59歳男性が自宅で手足を縛られ、口を塞がれた状態で遺体で発見された。死後数日経過していた。

「13歳女性、銃撃され死亡」(殺人事件)

6月13日午後8：30、サンホセ市ラカルピオで13歳の女性が道を歩いていたところ、19歳の女性に銃撃され5発銃弾を受けて死亡した。以前から、家族同士で揉め事があった模様。

「30歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

6月13日午後9:50、エスカス市の貧民街で30歳男性が待ち伏せしていた男性2人組に銃撃を受けて死亡した。被害者は過去に麻薬密売、強盗等49回の逮捕歴があり、報復による犯行とみられている。

「3人の男性が銃撃を受け怪我」(殺人未遂)

6月15日午前4:00過ぎ、サンホセ市ラウルカのナイトクラブで飲んでいた23歳、34歳のコスタリカ人男性と25歳ニカラグア人男性が、店を出て車に乗り込んだところ銃撃を受けて負傷した。被害者には前科があり、報復によるものとみられている。

「23歳女性、刃物で15箇所刺され重体」(殺人未遂)

6月19日午前7:30、エスカス市の自宅で23歳女性が元同棲相手の男性に刃物で15箇所刺され重体となった。男は自首して逮捕された。

「手足を縛られ首を切られ殺害」(殺人事件)

6月29日午後5:30、サンホセ市パバスの家の中で、手足を縛られ首を切られた男性の遺体が発見された。通報で駆けつけた警官が付近にいた男性を容疑者として逮捕した。

●リモン県

「23歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

6月4日午前1時30分、リモン市のバーで23歳男性が飲んでいたところ、3人の覆面の男がやってきて銃撃され、銃弾を4発受けて死亡した。近くにいた女性客も銃弾を受け負傷した。麻薬がらみの抗争とみられている。

「26歳男性、6発撃たれて重体」(殺人未遂)

6月5日午前10時30分、シキイレズ市で26歳男性が銃撃され銃弾6発を受けて重体となった。被害者は盗難等の前科があり、報復によるものとみられている。

「28歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

6月5日夜、リモン市で28歳男性が人気のない道を歩いていたところ、見知らぬ男性が近付いてきて銃撃され死亡した。被害者は麻薬密輸等多数の前科があり、報復によるものとみられている。

「33歳男性、バーで喧嘩になり銃撃され死亡」(殺人事件)

6月10日午後10:20、ポコシ市のバーで喧嘩が起き33歳男性が銃で撃たれ死亡した。死亡した男性は、盗難・銃不法所持等の前科があった。

「24歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

6月21日午後8:00、シキイレス市で24歳男性が銃撃され死亡した。外出したまま帰ってこないため心配になった兄が探しに行ったところ、道で倒れているのを発見した。携行品を盗られた形跡はなく、報復によるものとみられている。

●アラフエラ県

「女性白タク運転手、銃撃され死亡」(殺人事件)

6月3日午前0時40分、アラフエラ市で42歳女性白タク運転手がバーから女性客を乗せて走っていたところ、車に乗って接近してきた3人組の男性から銃撃されて死亡した。乗客は怪我を負った。

「38歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

6月4日午前10時00分、オルティナ市で38歳男性が道を歩いていたところ、2人組のオートバイが近付いてきて銃撃され死亡した。

「24歳男性、刃物で殺害」(殺人事件)

6月12日午前3:00、サンラモン市で24歳男性が恋人と道を歩いていたところ、オートバイに乗った2人組が近付いてきて刃物で殺害された。殺害された男性は、強盗等の前科があり報復によるものとみられている。

「ウーベルを呼んで金品を強奪」(強盗事件)

アラフエラ市のインフェルニーニョで、ウーベルを呼んで運転手から金品を強奪するという犯罪を過去に25回行って、54歳と21歳の親子、16歳の未成年1名が逮捕された。

●エレディア県

主要事件の報道はなし。

●カルタゴ県

「20歳の男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

6月8日午後7:30、20歳の男性が35歳の男性と道端で会話をしていたところ、車に乗った複数の男性がやってきて銃撃されて死亡した。一緒にいた35歳男性は負傷した。被害者は、過去に麻薬密売の取り調べを受けたことがあり、麻薬組織の抗争によるものとみられている。

「薬局に強盗が押し入り、売上金30万コロン奪って逃走」(強盗事件)

6月13日夜、パライソ市で閉店間際の薬局に銃をもった強盗が押し入り、その日の売上金30万コロンを奪って逃走した。

●プンタレナス県

「29歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

6月11日、29歳男性が仲間11人と仕事していたところ、突然4人の男が入ってきて発砲した。29歳男性が銃弾を受けて死亡した。

●グアナカステ県

「28歳の男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

6月18日午前1:00、28歳男性がバーで飲んでいたところ、突然2人組の男性が店に入ってきて銃撃されて死亡した。被害者は強盗、麻薬密売、殺人未遂等の前科があり報復による犯行とみられている。

「53歳男性、銃撃され死亡」(殺人事件)

6月24日午後9:30、ニコヤ市で53歳男性が道端で何者かに銃撃されて死亡した。被害者は麻薬密売の前科があった。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140
E-mail: japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または tadashi.washio@mofa.go.jp (鷺尾)まで